

第1回実用技術講座

実用濃厚スラリーの機能・特性と分散性の関係を探る

インク、塗料、化粧品、セメントなど実用分散系は高濃度でしかも組成は複雑なものが多い。一方、コロイド科学で扱われる理論はその多くが粒子濃度の低い、いわゆる希薄単一粒子系を対象としてきました。このことが実用分散系を設計する際の理論と実在系の隔たりとなり、多くの技術者にとってモノづくりの障害や技術革新の課題となってきました。本講座では濃厚分散系を実際に取り扱われている開発者を講師にお迎えし、分散性の定義や分散制御と言った基礎から各分野での応用例まで様々な視点からの講演をお願いしております。とくに濃厚スラリーのレオロジーの特性や機能と分散性の関係について、各分野での考え方・見方をご紹介頂き、理論的アプローチや実用系の扱い方を学ぶ機会となることを願って企画いたしました。濃厚分散系にご興味をお持ちの研究者や開発の課題でお困りの技術者の方など各分野からの幅広いご参加をお待ちしております。

◆主催：日本化学会コロイドおよび界面化学部会

◆日時：2013年11月8日(金) 10:00-17:10

◆場所：日本化学会化学会館

●講演時間（講演45分+質疑5分）

- 10:00-10:50 「General considerations regarding evaluation of dispersibility and In-situ characterization by separation behaviour」
ISO/TC24/SC4WG16:分散安定性評価グループ、コンビナー Dietmar Lerche 先生
- 10:50-11:40 「濃厚ヘテロ分散系の塗料設計について」
日本ペイント(株) 山本 正治 先生
- 11:40-12:30 「濃厚スラリーの流体力凝集と構造粘性」
東京大学工学研究科 山口 由岐夫 先生
(昼食休憩)
- 13:30-14:20 「レオロジーで不均一を測る ～レオロジーなんかこわくない!～」
日本レオロジー学会 上田 隆宣 先生
- 14:20-15:10 「化粧品用粉体の機能性に及ぼす分散特性の影響」
(株) 資生堂・那須 昭夫 先生
(休憩)
- 15:30-16:20 「セメントの分散性制御とその特性/建材分野への適用事例」
ライオン(株) 野田 泰史 先生
- 16:20-17:10 「顔料粒子と樹脂粒子を含む水性インクジェットインクにおける流動と界面作用」
元キャノン(株) 野口 弘道 先生

●定員：100名 (先着順受付参加申込締切 11月6日(水) 一早めにお申し込みください)

●参加費：部会員 10,000円、日化・協賛学協会会員 13,000円、非会員 15,000円、学生 5,000円

●参加申込方法：電子メール、葉書またはFAXで、①氏名、②所属、③住所(連絡先・郵便番号)、④電話・FAX番号、⑤会員種別、などを明記のうえ下記宛にお申し込み下さい。お申し込みいただいた方には後日詳細案内とともに請求書をお送り致しますので、折り返し銀行振り込みにてご送金下さい。

●申込先・問い合わせ先

公益社団法人日本化学会コロイドおよび界面化学部会

第1回実用技術講座 事務局

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

TEL: 03-3292-6163 FAX: 03-3292-6318

E-MAIL: dcsc@chemistry.or.jp